

主な業務の執行状況

	件名	執行状況・経緯	内容
1	各種申請の認可に関わる事項	<ul style="list-style-type: none"> ・3月19日 経済産業大臣に2019事業年度事業計画、2019事業年度予算及び資金計画の認可を申請 ・3月29日 経済産業大臣から2019事業年度事業計画、2019事業年度予算及び資金計画の認可を取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月19日に開催された第34回運営委員会の決定を受け、同日、経済産業大臣に対して、2019事業年度事業計画、2019事業年度予算及び資金計画の認可について申請し、3月29日に認可を取得。
2	日本原燃への使用済燃料再処理役務等の委託に関わる事項	<p>① 契約履行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月22日 品質保証活動について日本原燃から聴取 <hr/> <p>② 事業変更許可補正申請に係る取組み確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月22日 再処理施設等の今後の審査対応の見通し等について日本原燃から聴取 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本原燃から、以下の取組み等について確認した。 <ul style="list-style-type: none"> - 設備の全数把握及び状態確認の結果を踏まえ、対象設備の保守管理計画が適切なものになっているかの確認を実施。 - 世界の原子力事業者の知見を活用し、更なる安全性の向上に取り組んでいくことを目的に世界原子力発電事業者協会（WANO）へ4月1日付で加盟。施設パフォーマンス評価、相互支援、情報交換、良好事例の活用を行っていく。 - 今年度保安検査については、各四半期のうちの10週間程度で実施される。 ・機構としては、引き続き、日本原燃の保安規定違反の再発防止対策を含む改善活動の取組状況を確認するとともに、確実な実施を促していく。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・日本原燃から、以下の取組み等について確認し、しゅん工に向けた許認可への対応や工事の計画的な実施に加え、保守管理の強化や技術力の向上等、安全・安定操業に向けた取組みについても計画的に進めていくよう促した。 <ul style="list-style-type: none"> - 3月20日の原子力規制委員会にて、原子力規制庁が取りまとめ中の審査書案に対するコメントがなされ、3月29日の審査会合にて今後確認が必要な論点が示された。 - MOX燃料加工施設の燃料集合体組立設備等の設置に係る設計及び工事の方法の認可申請書、並びに燃料棒貯蔵設備等の変更（火災対策及び耐震性確保）に係る設計及び工事の方法の変更認可申請書を3月29日に提出。 ・機構としては、原子力規制委員会への対応状況を注視していくとともに、都度、しゅん工に向けたスケジュールや取組みを工程管理の一環として確認していく。
3	対外対応等に関わる事項	<ul style="list-style-type: none"> ・3月29日 2019事業年度事業計画、2019事業年度予算及び資金計画の認可取得等に係る対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019事業年度事業計画、2019事業年度予算及び資金計画の認可取得についてホームページにお知らせ。